

令和 8 年 10 月 2 日
愛 媛 大 学

防災シンポジウム「大規模自然災害に備える」を開催

本年 7 月 18 日に令和 8 年熊本地震が発生しました。最大震度 7 を記録し、10 年前の熊本地震を含め、熊本県では 3 回目となる震度 7 の観測となりました。今回の地震では、イオンモール熊本での大規模な爆発、日本製紙八代工場での煙突倒壊、活断層周辺における高速道路高架の損壊など、さまざまな被害が発生しました。一方、南海トラフ巨大地震についても、その切迫性が指摘されています。人口減少が進む我が国において、南海トラフ巨大地震が発生した場合、その被害と復旧・復興への影響は極めて大きなものになることが懸念されます。また、近年は大規模な気象災害も相次いでおり、平時からの備えを一層進めていくことが重要です。

そこで、大規模自然災害への備えについて考える防災シンポジウムを下記のとおり開催します。本シンポジウムは、愛媛県下のみなさんと最新の情報を聴講し、共に学ぶ機会とするものです。

つきましては、ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

記

- 日 時：令和 8 年 10 月 15 日（木） 13:00～16:10
- 会 場：愛媛大学南加記念ホール（オンライン配信ハイブリッド開催）
- 主 催：愛媛大学防災情報研究センター、えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）
- プログラム：
 - 13:00～14:15 I 防災教育を通して個人、家庭、地域の防災力を高める
 - 14:20～15:35 II 大規模自然災害の被害と復旧・復興
 - 15:40～16:10 III 南海トラフ地震に備える技術開発
- 参加申込：フォームからお申し込みください。（<https://forms.gle/mynn8C62CQYnmjDv7>）

※詳細なプログラムについては、別紙をご参照ください。

※取材いただける場合は、10 月 13 日（火）までに以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地域協働推進機構防災情報研究センター
TEL/FAX：089-927-9021
Mail：kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 4 枚（本紙を含む）

防災シンポジウムとピッチイベント同日開催のご案内

愛媛大学防災情報研究センターでは、えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）主催の「防災シンポジウム～大規模自然災害に備える～」と、インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム主催の「ピッチイベント」を同日開催します。両イベントを続けて聴講いただけますので、ぜひご参加ください。

日 時：令和 8 年 10 月 15 日(木)

13:00-16:10 防災シンポジウム「大規模自然災害に備える」

16:15-17:15 松山地域令和 8 年度第 1 回ピッチイベント

会 場：愛媛大学南加記念ホール（愛媛大学城北キャンパス）、オンライン併用

内 容：以下【1】【2】に詳細

定 員：200 名、オンライン 300 名（先着順、一般の方も参加可）

参加費：無料 CPD、CPDS プログラム（会場参加のみ対象、申請中）

参加申込み：申込フォーム（ <https://forms.gle/myynn8C62CQYnmjDv7> ）

または E-mail、FAX（別紙申込書）にてお申し込みください。

申込期日：令和 8 年 10 月 9 日(金)、定員になり次第、締め切ります。

問合せ先：愛媛大学防災情報研究センター（えひめ建設技術防災連携研究会事務局）

TEL/FAX 089-927-9021 Email kensien@stu.ehime-u.ac.jp

意見交換会：松山市内にて開催 18:30～20:30 ※10 月 2 日まで事前にお申込みください。



【1】

防災シンポジウム「大規模自然災害に備える」

本年 7 月 18 日に令和 8 年熊本地震が発生しました。最大震度 7 を記録し、10 年前の熊本地震を含め、熊本県では 3 回目となる震度 7 の観測となりました。今回の地震では、イオンモール熊本での大規模な爆発、日本製紙八代工場での煙突倒壊、活断層周辺における高速道路高架の損壊など、さまざまな被害が発生しました。一方、南海トラフ巨大地震についても、その切迫性が指摘されています。人口減少が進む我が国において、南海トラフ巨大地震が発生した場合、その被害と復旧・復興への影響は極めて大きなものになることが懸念されます。また、近年は大規模な気象災害も相次いでおり、平時からの備えを一層進めていくことが重要です。

そこで、大規模自然災害への備えについて考える防災シンポジウムを下記のとおり開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

主 催：愛媛大学防災情報研究センター、えひめ建設技術防災連携研究会 CTB-ehime

共 催：(一社)四国クリエイト協会、インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム

日 時：令和 8 年 10 月 15 日(木) 13:00-16:10

会 場：愛媛大学南加記念ホール、オンライン併用

プログラム：

13:00～14:15

I 防災教育を通して個人、家庭、地域の防災力を高める

1. 高校生防災地理部との東北・能登被災地スタディーツアー
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 小関玲奈
2. 震災のリアリティーを学校・家庭・地域へ
ー東北震災復興視察を通した南海トラフ地震への備えー
宇和島市教育委員会 宝本 将、岡崎正太郎
愛媛大学防災情報研究センター 山本浩司
3. 1万人防災士のフォローアップ研修を通した実践能力の育成
松山市役所 竹場 登、重谷朋志
松山防災リーダー育成センター 中島淳子、中川裕介
4. 「とどけ！いのちのハガキプログラム」を核とする松山逃げ遅れゼロプロジェクト
松山防災リーダー育成センター 中島淳子、矢田部龍一
松山市役所 重谷朋志、竹場 登
5. 建設コンサルタント技術者のキャリアプラン(仮)
芙蓉コンサルタント 須賀幸一
6. 高校生による「事前復興」の実践と地域防災への展開 (論文執筆のみ)
ー被災地での学びを地域の実践と次世代の継承へー
愛媛県立南宇和高等学校 檜垣歩夢

14:20～15:35

II 大規模自然災害の被害と復旧・復興

7. TEC-FORCE の活動がいち早い復旧に貢献する
国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所 中塚 光
8. 愛媛県南予地域における平成30年7月豪雨災害の概要と災害廃棄物の処理
浅田組 中村義人
9. 南海トラフ巨大地震時における愛媛県建設分野の課題抽出と対応策の検討
荒谷建設コンサルタント 稲村貴志
芙蓉コンサルタント 須賀幸一、武智健二
富士建設コンサルタント 武田保幸
国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 郷田正博
愛媛大学防災情報研究センター 山本浩司
10. 生成AIを活用した災害時行動支援手法の提案と実証
荒谷建設コンサルタント 稲村貴志
芙蓉コンサルタント 須賀幸一、武智健二
富士建設コンサルタント 武田保幸
国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 郷田正博
愛媛大学防災情報研究センター 山本浩司
11. 肱川流域をつなぐ防災まちづくりの取組
国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 高倉 陸
東京大学大学院 羽藤英二
愛媛県立大洲高等学校 上甲先代
愛媛県立大洲農業高等学校 末光佑樹
復建調査設計 新宮圭一、岩井 綾

15:40～16:10

Ⅲ 南海トラフ地震に備える技術開発

12. 南海トラフ地震からのいち早い復興を目指して～地下・地上一体型の空間情報整備の効果～

カナン・ジオリサーチ 篠原 潤

13. 日本インフラ空間情報技術協会が目指すインフラメンテナンスの見える化への取り組み

ー地下地上一体型空間情報共通プラットフォームー

愛媛大学 矢田部龍一

カナン・ジオリサーチ 篠原 潤

【2】

インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム 「ピッチイベント」

昨年 1 月 28 日、埼玉県八潮市において、下水道管の損傷に起因する大規模な道路陥没事故が発生しました。幹線道路における道路陥没は、交通や市民生活に大きな影響を及ぼすことから、社会インフラを適切に維持管理することの重要性が改めて認識されています。

高度経済成長期に整備された多くの社会インフラが建設後 50 年を迎え、本格的なメンテナンスの時代に入っています。膨大なインフラを限られた人員・予算の中で適切に維持管理していくためには、点検の効率化・高度化を支える新たな技術の導入が不可欠です。

そこで、インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラムでは、学協会や民間企業等が保有する先進的なインフラ点検・維持管理技術を紹介し、その活用やマッチングにつなげる場として、下記のピッチイベントを開催します。自治体職員、建設コンサルタントをはじめ、インフラの維持管理に携わる多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

主 催：愛媛大学防災情報研究センター、インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム

共 催：(一社)四国クリエイト協会、えひめ建設技術防災連携研究会 CTB・ehime

日 時：令和 8 年 10 月 15 日(木) 16:15～17:15

会 場：愛媛大学南加記念ホール、オンライン併用

プログラム：

16:15～17:15

シーズ紹介 (マッチング)

1. インフラ構造物の調査点検・維持管理ソリューション「Panoca」

株式会社エアーム 石田 剛

2. 鋼構造物に残置した 250 μm 以下の赤錆に対する化学的除錆・防錆技術

アルファペイント株式会社 小林哲史

3. 狭小空間点検ドローン「IBIS2」による動画から「TRANCITY」により 3D データ生成による DX 推進

CalTa 株式会社 石田将貴

4. 包括的民間委託 公共施設維持管理の課題を民間のノウハウ等により解決を目指す

八千代エンジニアリング株式会社 井上遼平